

総会も終り、次はスコットランド旅行、そしてコンサート、ワーキングホリデーと忙しくなります。若葉が茂るようにアメニティ 2000 協会の活動も茂らせていきましょう。

お知らせ

- ・アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」6月9日(土) 大阪教会(すでに定員に達しました)
- ・英国ナショナル・トラストの旅 6月10日～19日 スコットランド
- ・アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」7月14日(土) ヴォーリズ六甲山荘(すでに定員に達しました)
- ・ワーキングホリデー支援コンサート 7月21日(土) 芦屋仏教会館
- ・神戸ワーキングホリデー2012 7月30日(月)～8月2日(木) (3泊4日) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

予告1

マリimba with ピアノ コンサート

マリimbaをご存知ですか。分厚い木の鍵盤の上で2本から4本ものバチが華麗に動き、快活なリズムと豊かなハーモニーを生む楽しい楽器です。7月のコンサートは気鋭のパーカッション奏者安永早絵子さんがマリimbaやほかの打楽器を駆使してパーカッションの楽しさを満喫させてくれます。

このコンサートの収益は7月末に開催される神戸ワーキングホリデー2012(東日本大震災の被災学生を招待します)の実施費用に充てられます。

日時 2012年7月21日(土) 午後2時開演(1時半開場)
場所 芦屋仏教会館
出演 安永早絵子(打楽器奏者) 城村奈津子(ピアノ伴奏)
参加費 会員1,500円 一般2,000円 定員 120名(要予約)



ご報告1

アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」5月12日(土) 神戸女学院第1期セミナーの2回目は神戸女学院の社交館で行われました。石田忠範さんの実体験に基づいたお話や神戸女学院の建物に関する情報など、石田さんならではのお話で、あとの見学も実りあるものでした。



神戸ワーキングホリデー2012についてのお願い

先月号でご案内しましたが、東日本大震災共生プログラムとして、神戸ワーキングホリデー2012を開催します。これはいわき市に避難している被災学生を招待し、ヴォーリズ六甲山荘で“ワーク”(共同作業)と“ホリデー”(遊び)を楽しんでもらおうという企画です。いわきからは少なくとも3年の女子高生4名が来るのが内定しています。

実施期間: 7月30日(月)～8月2日(木)

そこで皆さんにお願いです。

- ・阪神間の女子高校3年あるいは女子大学生で、ホリデーに参加する学生をご紹介します。
若い人には若い人、一緒に作業し、寝食をともにして交流する学生を求めています。できれば3年の女子高生を紹介していただけるとありがたいです。
- ・ご寄付をお願いします。
被災学生の旅費、滞在費はすべて協会で負担します。これを寄付でまかないたいと考えています。寄付目標額は60万円です。7月に芦屋仏教会館で開くコンサートの収益も充当しますが、まだまだ不足です。ご協力よろしくお願ひいたします。
- ・期間中のスタッフを募集しています。
作業や食事の補助をして、学生たちの生活を支える仕事です。親戚のおじさん、お婆さんの気持ちでご参加ください。

2010年六甲山荘で開いたワーキングホリデーは大成功でした。今回も皆さんのお力でぜひ成功させましょう!

【コラム】

『ヴォーリズ六甲山荘物語』 発刊まじか

佐野 宣治

冊子『ヴォーリズ六甲山荘物語』をもうすぐ出版いたします。アメニティ 2000 協会は設立して 10 年余りが立ち、今や協会の活動も阪神間を越えて広く知られております。ヴォーリズ研究の第一人者による「アメニティ・アカデミー」では、東京からは数名の受講生が毎回見えるほどの大人気です。

協会は毎年、協会活動を総括したアメニティレポートを会員に配布してきましたが、今回出版する『ヴォーリズ六甲山荘物語』は、今日に至る「六甲山荘」にまつわる史実と会員たちの思いやヴォーリズが建物に託した優しさの側面等に絞って編集しました。

この『物語』は「六甲山荘」の発見から保存の必要性を説き、熱い心で手にしたこの「六甲山荘」を会員達で維持管理し、国指定の有形文化財として登録せしめ、広く世間に公開することを自らの責務としたところから始まります。

『物語』には、「賜り物（たまりもの）の発見」、「住む人に優しい建築」、「ヴォーリズという名の芥子種」、「私にとっての六甲山荘」などなど、それぞれの立場からのヴォーリズを思う心、山荘に寄せる思いが凝縮されております。

編集に携わった私は、多くの資料や会員の原稿などから六甲山荘の再発見をしました。ヴォーリズは生涯、1,500 件近い建物を建築しておりますが『物語』に溢れる「利用者への優しさの思想」が 1,500 件の全ての建物にも脈々と流れているものと確信いたしました。

会員皆様のご愛読をお願い致します。

ご報告2 チャリティ・オープンガーデン 5月19日（土） 正司邸

天気もよくバラも美しく、来場者も 306 名とほどよい人数で、お客さまもスタッフも気持ちのいい一日でした。ミニコンサートでは正司さんご自身が歌を熱唱、喝采をあびておられました。



《お薦めの本》

鎌田 實著 「たったひとつ変われば うまくいく」

来嶋 泰志

この本は、ベストセラー『がんばらない』で有名な、諏訪中央病院院長 かまたみのる 鎌田 實 先生が「…いつもの涙があふれるエッセイではなく、人生の生き方を示す本、読み方によっては仕事に役立つ本 (P.37)」としてお書きになったものです。鎌田先生の大ファンの妻が、家に帰っても仕事のことで頭が満杯で、眉間に縦皺の私に、「電車で読めるよ～」とすすめてくれました。

1冊を通して、「超ホスピタリティ～おもてなしの心～」が家庭を、会社を、社会をいかに変えていくか、「うるうるしながら、生き方のヒントや、仕事のコツ」を教えてください。「仕事は 平凡が大事」という一節、勿論、不測の事態に対処する新しい技術や方法も大切ですが、「それとても、日々の作業がきっちりと実行されていてこそ可能になるのです (p.103)。「もらう以上に与えてごらんください。…あなたの仕事は輝いてきます。回りまわって、あなたにいつか、幸運が舞い降りてきます。人生ってそんなもんです(p.112)」「3・11 後のあたらしい生き方のヒントを考え直してみました。…こんなときは、おもてなしの心で生きてみませんか。99%は自分のために生きても、1%は誰かのために生きてみませんか (p.213)」。

ともすれば、即効性のある成果や展開に目が行きがちですが、表には見えないところにこそ大切な心～超ホスピタリティマインド～があり、その心をいかにして育て、その心がいかに素敵な奇跡をうむか…。

電車で一節読むごとに、肩の力をほぐし、そっと背中を押してくれる一冊です。(集英社文庫)

＜次回は村山多紀子さんをお願いします＞



◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

アメニティ・アカデミーのセミナーに参加して

山崎 俊郎

「ヴォーリズ建築再見」セミナーは、ヴォーリズ建築入門者の私にとって、まさしく待ち望んでいたテーマの大変良い機会でした。講師の山形先生と石田先生には、ちょうど大学のゼミのように身近にお話をうかがうことができ、アカデミックの雰囲気から随分遠ざかっていた身には、とても新鮮でした。草志舎のたたずまいも、うってつけの心地よいセミナーハウスでした。

東京在住、京都仮住まいの私には、いよいよ間近に関西エリアのヴォーリズ建築に触れることができ、またその研究の大家から直に解説をお聞きすることができるのは、なんとという幸せ。

3年前、汐留のミュージアムでヴォーリズとその建築を初めて知り、たちまちヴォーリズの人と生き方、考え方、その社会的起業家精神にすっかり魅せられてしまいました。

展示会場の仮設の階段や山荘に立ち、将来家を建てることになったら、是非この設計思想を取り入れたいと思ったものでした。

建築にはまったく素人の私ですが、せめて玄関と窓辺のベンチ、緩い階段、そしてスタンドグラスや玄関照明、レンガの活用、ウサギやカメのワンポイントなどは小柄の家でも手が届きそうです。

実は、現在拙宅も建替えの計画中で、いよいよ構想も現実問題となってきました。設計士の話には専門用語が飛び交っています。そんな建築用語もこのセミナーで紹介されるので、理解も深まると思っています。これからの回もとても楽しみです。

先生方、清水様はじめスタッフの皆様、お世話になりますがどうぞ宜しくお願いいたします。



←映像を駆使して話す山形教授

アメニティ・アカデミーが始まった

森田邦枝

待ちに待ったアカデミーの開講式がやってきた。憧れのヴォーリズ建築のことが学べるのがうれしくて数日前からそわそわする。講師の先生に本のサインをもらっている方がおられたので、横からのぞいたら、なんと私のお気に入りの本が。急いで改めて表紙を見直すと山形政昭監修と書いてある。さらに本文のコラムや論考には石田忠範氏の名前がある。

大好きな本の監修者・筆者の講義を受けられることに初めて気づく。直々に講義を受けられるのだ。

開講式の後、第一回目の講義は山形先生である。スライドでヴォーリズ建築を紹介いただいた。実件数は八百四十一棟であるという。「ヴォーリズ風」でヴォーリズの影響を受けたと思われる建物も何棟かあった。はじめて見る建物も多くあった。私は宮崎県土々呂のかわいい雑貨屋さん（旧安村邸）に行きたくなくなってしまった。

また、懇親タイムが貴重だった。母校の校舎がヴォーリズ建築だった方の校舎の階段の手すりを滑り降りた話など、うらやましく聞く。いつもひとりで行動している私はヴォーリズを語れる人々の輪にいること自体に舞い上がる。はるか遠い伝記的存在である憧れのヴォーリズ。それが、実際にヴォーリズと出会ったことのある方の話を聞くことができ、一気にその方を通じてヴォーリズと時空が繋がったような気がする。興味あることを学べる幸せを実感している。

これからの講義が楽しみで仕方ない。

.....

六甲山荘たより

5月の六甲山荘

連休から始まった公開には来場者の数も少しずつふえてきました。台所の水道管も修理ができ、温水も使えるようになって、台所仕事が楽になりました。

先日思いがけないお客さまがありました。甲南女子大学の時代に六甲山荘の管理人をしていた女性の娘さんです。お母さんの暮らしぶりなどいろいろお話を聞かせてくださいました。また後日入会されました。ご縁のある方がお仲間になってうれしいことです。

募金のご報告~~4月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。

***六甲山荘ナショナル・トラスト募金**

《4月合計 33,400円 2012年度累計 33,400円》

***教育募金**

《4月合計 5,000円 2012年度累計 5,000円》

***一般寄付**

110,900円

一般寄付を合せて2012年度寄付金総額

149,300円

<事務局スタッフから一言> 中村 忠夫さん

定年後約半年を経た一昨年(2011)の8月から、さくら荘での毎週水曜日の定例事務作業に参加しております。担当は、会計事務です。日常の資金の出入りなどを「会計王」というソフトを使ってパソコンで記帳する仕事です。簿記の素養が全くないので、当初は、借方・貸方、仕訳処理などよく理解できず戸惑うばかりでしたが、最近少しは理解できるようになりました。不慣れなため会計業務に手をとられ、他の活動にあまり参加できなくてすみません。



ヴォーリズ六甲山荘の花~ベニドウダンツツジ

山荘の玄関前などに赤いかわいい花を咲かせています。秋の紅葉もあざやか、1年に2回美しく装う低木で、山荘の庭に色を添えてくれます。ドウダンツツジは漢字は「満点星」と書くそうです。読めませんよねえ。



写真・岡本正美

セミナー第2回・神戸女学院



図書館

チャリティ・オープンガーデン・正司邸



熱唱する正司氏